

登録コード:MH1AB100 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目・必修
科目名	看護キャリア形成論【25M以降】 Introduction to Nursing Career Development Theory		
担当教員	會田 信子 他 下里 誠二・中込 さと子・五十嵐 久人・小村 晃子		
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	看護1年生 後期(随時) 金曜・3時限		
単位数、講義室	1単位	多目的講義室	遠隔授業科目
信大コンピテンシー	該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素	⇔	授業の達成目標
	MH25カリ・保健・看護		
	≪基礎的・専門的な知識と技能≫看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。	⇔	看護専門職者を目指す学習者に必要なキャリアデザインの基礎的知識や理論を理解し説明できる。
	≪科学的探求力≫変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。	⇔	看護専門職者の進学・就労のキャリアパスや実情を理解し、自身の看護職としてのキャリアについて設計(デザイン)し続けていく態度を涵養する。
授業で学べる「テーマ」	多文化協働、キャリア		
全学横断特別教育プログラム			
授業概要	本講は、「看護学」を学び始めた初学者(第1学年)が、今後の大学での学びを自身の進路・職業選択や人生設計に活かせるようにすることを目的としている。 キャリアデザインに必要な基礎的知識のみならず、専門職として生涯に渡ってキャリア管理をしていく意義、キャリア開発を支える社会資源、職能団体である「看護協会」の役割・機能、および、卒業生の実体験を踏まえた就職活動に必要な知識・準備などについて、講義、協同学習および卒業生との講話によって習得します。 本科目は、1年次前期の基礎看護学系科目で学んだ「看護学」に関する知識、および早期体験実習(基礎看護学実習Ⅰ、地域老年看護学実習)で体得した看護職が働く場や役割・機能などに関する実践的知識を前提として、2年次以降の専攻専門科目の学修の動機づけや自己理解につながり、短期・長期的な学生個々のキャリアデザインを検討していく上での重要な科目に位置づけられます。 ※本授業は、男女共同参画に関する内容を含んでいます。 ※本授業は、担当教員、副担当教員およびゲストスピーカー(卒業生など)の保健医療福祉機関・施設での看護師としての実務経験を活かして講義を行います。		
授業計画	★本科目は、学習内容の進捗や順序性に考慮しながら、8回の授業(金曜・3時限)を不定期に行います。開講日時に注意して下さい。 第1回(10月02日/金)ガイダンス、キャリアの意味とキャリア教育の意義〔會田〕 第2回(10月30日/金)グループ発表と共有1:キャリアデザインの基本的知識〔會田〕 第3回(11月06日/金)グループ発表と共有2:キャリアデザインの基本的知識〔會田〕 第4回(12月04日/金)「自分らしさ」に気づき、より良い学生生活を送ろう【ゲスト・スピーカー:株式会社マイナビ】<課題提出1>〔會田〕 第5回(12月11日/金)看護職のキャリア形成を支える看護協会の役割・機能【ゲスト・スピーカー:長野県看護協会】<課題提出2>〔會田〕 第6回(12月18日/金)卒業生を迎えての懇談会1(保健師1名)、保健師教育の大学院化と意義<課題提出3>〔會田、保健師コース〕 第7回(12月25日/金)卒業生を迎えての懇談会2(助産師1名)、助産師教育の大学院化と意義<課題提出4>〔會田、助産師コース〕 第8回(01月08日/金)卒業生を迎えての懇談会3(看護師2名)<課題提出5>〔會田、老年・在宅〕		
授業の進め方	授業は「講義」「グループ発表と共有」および「卒業生との講話」で進めます。 ・講義の配付資料は、事前にeALPSにアップするので、各自で印刷 or ダウンロードして下さい。 ・授業時間外にグループワークを行い、作成した資料をもとに発表・質疑応答を行います(発表上の留意点は第1回講義で説明します)。 ・卒業生との講話では、事前に質問があれば、eALPSに提出して下さい。当日は、卒業生の発表後に質疑応答で理解を深めます。		
テキスト、教材、参考書	【テキスト】 濱田安岐子(監修),看護師のためのキャリアデザインBOOK(最新版),つちや書店。 【参考書】 杉山崇ほか(著),キャリア心理学ライフデザイン・ワークブック(最新版),ナカニシヤ出版。 稲本恵子ほか(編),大学生のキャリアデザイントレーニング(最新版),晃洋書房。 稲本恵子ほか(著),社会人基礎力:大学生の社会人準備講座(最新版),晃洋書房。 唐沢明(著),大学生からはじめる社会人基礎力トレーニング(最新版),丸善出版。 大崎千恵子ほか(編著),看護学生してはいけないケースファイル(最新版),丸善出版。		
成績評価の方法	成績評価は、1)グループ発表と共有50%、2)課題提出50%の配分比による合計点で実施します。		

成績評価の基準	成績評価の方法の合計点にもとづき、判定基準は、90-100点(秀)、80-89点(優)、70-79点(良)、60-69点(可)、60点未満(不可)とします。 1) グループ発表と共有は(計2回)、下記の4項目で評価します。 ①課題内容の適切性(40点)：課題に準じた適切な内容を論理的に発表・質問している。 ②参加度(40点)：遅刻・早退なく、協力的・主体的に参加している。 ③発表・共有態度(10点)：聞き取りやすく、理解しやすい話し方で伝達・意見交換をしている。 ④時間(10点)：指定時間にそって発表・質疑応答をしている。 2) 課題提出の課題は(計5回)、下記の4項目で評価します。 ①提出期限(40点)：指定期限までに、指定された方法で提出されている。 ②授業への参加度(40点)：授業に出席し、主体的に参加している。 ③課題内容の適切性(10点)：授業をもとに、課題に対する適切な内容が論理的に記載されている。 ④文章構成力・フォーム(10点)：誤字脱字がなく、主述関係が明確で、指定フォームに準じて作成されている。
事前事後学習の内容	【事前学習】 授業計画に示すグループ発表(第2・3回)の資料作成、発表準備は、授業時間外に行って下さい。その他、予習してほしい内容は、各回の講義前にeALPS上でアナウンスします。 【事後学習】 授業で生じた疑問などは、関連図書・ネット等で確認したり、友人らと意見を交換したりして、自身の知見を広げていって下さい。学生に読んで欲しい資料(新聞記事・図書など)は、eALPS上に提示します。 今後の大学での学びを自身の進路・職業選択や人生設計に活かせるよう、関連する書籍・資料などを読んで主体的・積極的に学んで下さい。 ※本授業の単位修得には45時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を必要とします：授業時間15時間(2時間×7.5回)＋自己学習時間30時間(4時間×7.5回)＝45時間
学生へのメッセージ並びに質問、相談への対応	●オフィスアワー 随時としてます。事前に科目責任者にメールでアポイントをとって下さい。 會田信子研究室(中校舎3F) aida@shinshu-u.ac.jp ●出席確認 ・出席は、原則として「QRコード」と「手書き署名による出席」で確認します(欠席者の代筆等の不正行為はしないでください)。 ・事前に欠席することがわかっている場合は、メールにて、講義担当者に欠席理由を教えてください。事前に連絡できない場合は、後日でも結構です。 ●学習の補充 ・単発的な欠席の場合、いかなる欠席理由であっても、「学習の補充」は特別に課すことはしていません。欠席した時は、eALPSにアップされている配布資料とテキストで自己学習をしてください。 ・「グループ発表と共有」は、授業・評価方法の特殊性から「学習の補充」が難しいため、原則として行いません。 ・欠席が長期間に及ぶ場合は、「学生便覧」の規程に準じた手続きをとって下さい(ただし、自己都合による欠席については学習の補充の対象となりません)